

# 施策評価シート

## 1 総合計画上の位置づけ

担当課：水道課

施策名	上水道
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・衛生的で安全な水が安定して供給されており、市民が安心して水道水を利用しています。

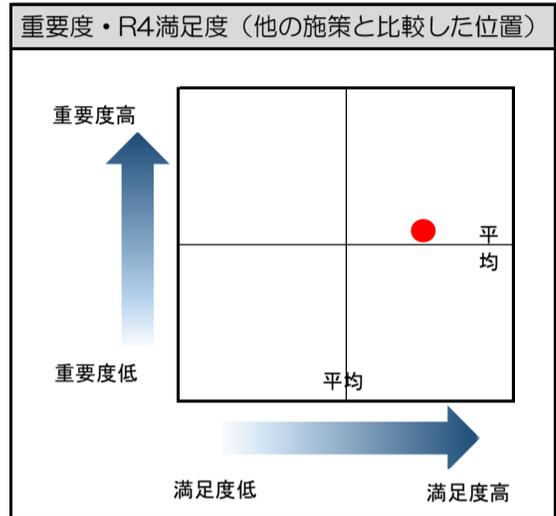
## 2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標		令和9年度目標
有収水量率	%	67	74		80
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	65	64	65	67	67

## 3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度/単位 (%)
令和3年度
99.5

満足度（満足している市民の割合）/単位 (%)		
令和3年度		令和4年度
92.0	↗ UP	93.1



## 4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

老朽化水道管は、水道管の設置年度（最盛期が昭和50年ごろから平成10年ごろまで）に偏りがあることから、老朽化管路延長の増加が今後加速していきます。また、有収率（使用者に届き、使用された水の総量÷送り出した浄水の総量）が低い水準であることから、すでに管路の老朽化が進行して地下で漏水しており、送水・配水ポンプなどに掛かる電気料金や薬品費などの給配水コストに悪影響を及ぼしていると考えられます。その対策として、老朽管の更新事業を計画的かつ効率的に行って管路の強靱化や長寿命化を推進するほか漏水調査を拡充し、漏水修繕を着実に行うことによって有収率の改善を図っており、少しずつではありますが改善してきています。今後は、これらの事業を着実に継続するとともに、有収率の低い配水区域を重点的に調査を実施する等、より効率的に対策を行うことで、安心安全な水道水の安定供給の持続を図ります。